



まちのおすすめスポット

御影公会堂 におでかけしよう

東灘区を見つめて90年!



1960年(昭和35年)の御影公会堂

1933年(昭和8年)に旧御影町が白鶴酒造7代目社長・嘉納治兵衛氏より寄付を受け、御影公会堂を建設した時から90年が経ちました。水害・戦災・震災も耐え抜いた御影公会堂は、今なおイベントや地域の行事など様々な用途で利用されています。地域の方々から愛される、魅力いっぱいのスポットをご紹介します!

住所 御影石町4-4-1
開館時間 9:00~21:00 休館日 火曜日・年末年始
TEL 841-2281 FAX 841-2282



1933年(昭和8年)	御影公会堂建設
1938年(昭和13年)	阪神大水害が発生
1945年(昭和20年)	神戸大空襲で外壁を残し内部がほぼ全焼
1995年(平成7年)	阪神・淡路大震災が発生し避難所として利用
2016年(平成28年)	大規模な改修工事を始める
2018年(平成30年)	国の登録有形文化財に登録

阪神間モダニズムを体感しよう

当時の神戸の代表的建築家である清水栄二氏が手がけた設計は、丸くカーブした窓と円塔が印象的です。2016年の改修では、耐震補強やバリアフリー化を行うとともに、レンガの外観や内装は建築当時の見た目に近づくよう再現されました。



そこかしこに
優美な曲線



1階ホール

和と洋が
ステキに
混ざり合う



303集会室

和室(芽淳の間・澤之井の間)



ここで2023年1月に
ひがしなだかるた大会
を開催しました!

※次回の大会の詳細は決まり次第お知らせします。



3階
階段付近

まちの歴史と

人物を探求しよう

御影公会堂や御影地域の歴史が分かる資料を展示しています。また、柔道の父といわれている嘉納治五郎の功績を紹介しており、嘉納治五郎が柔道をしている様子や講演会の動画を日本語版と英語版で見ることができます。貴重な資料の数々をじっくりとご覧いただけるコーナーです。

開館時間 9:00~17:00
入場料 無料



嘉納治五郎記念コーナー



御影郷土資料室



御影公会堂食堂

御影公会堂が開館した当時から、地下1階にある食堂です。柱や窓枠などは建築当時のものが残されており、地下とは思えない、広々とした明るい空間のなかで、贅沢な時間を過ごすことができます。また、食堂では90年前から変わらない方法で、鶏ガラ・牛骨・香味野菜を2週間煮込みデミグラスソースを作成、これをベースにしたハヤシルーがかかったオムハヤシが人気です。他では食べることのできない深い味わいのある逸品です。



堪能しよう
90年
変わらぬ味を

営業時間 11:00~14:00
(14:00ラストオーダー)
定休日 火曜日
TEL 851-2959

